



廃棄物の運搬処理をメインに、廃棄物の選別・破碎、一般家庭ごみの回収、資源ごみの回収・処分等を行う勝田環境株式会社。

日々の業務が環境に影響を与えることを認識し、グループ会社とリサイクル活動を推進し、循環型社会の形成に貢献しています。

特に、2005年からは、グループ会社である(株)バイオパワー勝田と「バイオマス発電事業」を推進。廃棄物を破碎した時に発生した木くずを、事業所内のリサイクル処理施設でチップ化し、それを燃料として一般家庭の一万世帯分に相当する電気をつくっています。また、木くずを破碎した時に出るおが粉を利用してたい肥づくりも行っています。関連会社であるカツタアグリ(株)と連携し、たい肥を利用して栽培したサツマイモを使って、干し芋の生産を行っています。さらに干し芋を作る時に出る皮をたい肥の原料とするなど、環境にやさしい循環型の取り組みを進めています。

入社5年目で市内在住の河治龍誠さんは、運送課に所属。4tコンテナ車の運転手として廃棄物の収集運搬作業を担当しています。

地元が大好きな河治さん。就職活動の際、学校の先生に市内で薦めたい企業があると紹介され応募。会社説明会の時のアットホームな雰囲気惹かれ入社したとのこと。

「社内は風通しが良く、上司や先輩とのコミュニケーションも取りやすい環境です。会社説明会の時に感じた明るいイメージそのままでした」と笑顔で話していました。

循環型社会の形成に貢献

働く暮らし

ひたちなかを

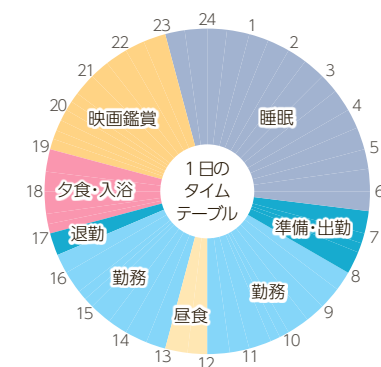
好きになる

Vol.22

日本の産業を支える市内中小企業でいきいきと働く人たちを紹介します。



運送課
河治 龍誠さん(22)
ひたちなか市在住、出身茨城県立海洋高校卒業
平成31年4月入社



休日は、釣りにハマっています。本格的に始めたのは、社会人になってから。職場の先輩や友人と海釣りにいくことが多いです。最近では、日立港でアジを10匹釣った時はとても楽しかったです。

市内のおすすめスポットは「麺や 虎ノ道」。高校生の時に友達とよく行っていました。「肉入りつけ麺」おすすめです。ぜひ、食べに行ってみてください。



▲肉入りつけ麺

麺や 虎ノ道

松戸町 1-1-1 ㊤定休

取材協力企業

勝田環境株式会社
津田 2554-2 ☎ 272-2141

代表者：望月 福男、望月 徹男
創業年：1961年9月（昭和36年）
資本金：3,000万円
売上高：32億円（令和4年5月期）
従業員数（男/女）：155人（132人/23人）
平均年齢：39.7歳
月平均残業時間：約10時間
R4年採用：新卒5人/それ以外11人
初任給：17.5万円～20.2万円
勤務時間：8:00～17:00（部署により異なる）
有給休暇の平均取得日数：13.8日/年（R4年度）
育児休業取得：男0人、女7人（R2～4年度）